

【賛成多数（一部反対）で可決・同意・採択・異議なしとされた議案】

議案番号	議案名	概要	反対議員等
議案第21号	財産の貸付けについて	津エアポートライン株式会社に対する海上アクセス用船舶2隻の貸付 月額 46万4,000円 (2隻)	長谷川幸子、藤本智子 和田甲子雄、豊田光治 岡村 武
		《反対討論》利益の3分の1の額が貸付料として設定されているが、余りにも安い貸付料であり、市民の財産を実態に合わない料金で貸し出すことは許されない。(日本共産党津市議団)	
		《反対討論》貸付期間が覚書よりも1年オーバーしているが、その根拠もなく、認めるわけにはいかない。(岡村 武議員)	
議案第24号	三重県市町総合事務組合同規約の一部の変更に関する協議について	三重県市町総合事務組合における物品及び業務委託に係る入札参加資格申請の受付及び審査の共同化に関する事務について、平成25年4月1日から共同処理する市町に伊賀市を加えることなどによる所要の変更	岡村 武
		《反対討論》入札制度として合理的や便利などといわれているが、真に地域を想い活性化等を考えるならば、わが市独自でもっと丁寧にやるべきである。(岡村 武議員)	
議案第25号	特定事業契約について	P F I 津市斎場株式会社との津市新斎場整備運営事業の契約 56億9,190万8,250円 (契約締結の日から平成42年3月31日まで)	長谷川幸子、藤本智子 和田甲子雄、豊田光治 八太正年、山崎正行 倉田寛次、村田彰久 岡村 武(態度保留)
		《反対討論》施設整備そのものに反対するものではないが、民間資金を活用しないにもかかわらずP F I方式を取り、15年間の利益を保証した契約とする点、全て民間に委ねることにより、斎場の維持管理・運営について、市に何もノウハウが残らない可能性が大きく、市民にとってなくてはならない斎場の事業運営の公的継続性が危ぶまれることから反対する。(日本共産党津市議団)	
		《討論》斎場建設には反対ではないが、P F I 制度を活用することに反対する。P F I はお金のない自治体が使いたいという意思を政府が酌んだ制度であり、津市はそこまで経済的に苦渋していない。建設はしないとはいけませんが、わざわざ市外・県外業者に儲けさせるなど重要な問題が隠されており、態度を保留する。(岡村 武議員)	
議案第33号	津市総合計画後期基本計画の策定について	平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とする津市総合計画後期基本計画の策定	長谷川幸子、藤本智子 和田甲子雄、豊田光治 岡村 武
		《反対討論》行財政改革の名のもと、根拠なき2,500人体制に向け職員削減を進めた結果、ケースワーカーの担当世帯数は国の指標の1.5倍、保育現場は臨時職員と正規職員の比率がほぼ半々となり、待機児童が毎年度末100名程度発生するなど、各部門において人員不足による過重負担、長時間労働などによる市民サービスの低下が懸念されており、職員体制の抜本的見直しが必要である。人権に名を借りた同和对策事業等の推進がうたわれていること、新中央公民館の津センターパレスへの移転は市民の理解が得られておらず、計画との間に矛盾があることなども指摘しておく。(日本共産党津市議団)	
		《反対討論》こんな意味のないことを議会で取り上げること自体がナンセンスである。(岡村 武議員)	
議案第34号	平成24年度津市一般会計補正予算(第7号)	国民健康保険事業、介護保険事業の増、庁舎整備事業、道路新設改良事業、土地区画整理事業、公共下水道事業、学校施設維持補修事業(小学校)の減等、 29億2,355万9,000円 の減額補正等	岡村 武(態度保留)
		《討論》約30億円の補正予算の中には、たくさんの事業や政策内容の異なった内容が入っており、これを賛成か反対かだけで意思表示できるわけがなく、態度を保留する。(岡村 武議員)	
議案第44号	平成24年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	貸付事業運営費、償還元金の減による 3,958万3,000円 の減額補正	長谷川幸子、藤本智子 和田甲子雄、豊田光治 岡村 武
		《反対討論》本来返していただく貸付元金3,630万円が不足することによる補正予算となっている。本会計は利率を下げるため借り換えが行われていることから、以前のように返済不足分を一般会計から持ち出すことにはなっていないが、一般会計への返還が減額になっており、適切な徴収を求める。(日本共産党津市議団)	
議案第47号	平成25年度津市一般会計予算	(仮称)津市産業・スポーツセンター整備事業、新斎場整備事業、新最終処分場・リサイクルセンター整備事業、名松線復旧・利活用事業、環境関係事業、生活基盤の整備事業関係経費、公共施設耐震化事業、消防関係事業、防災対策事業、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係経費、教育関係経費、生涯学習スポーツ・文化の振興に関する経費、農林水産業の振興事業、商工業及び観光の振興事業、交流機能の向上に関する経費、市民活動の推進と市民との協働に関する経費等、 1,059億8,425万1,000円	長谷川幸子、藤本智子 和田甲子雄、豊田光治 岡村 武(態度保留)
		《反対討論》中央公民館及び福祉センターの移転に関する経費が含まれている点、少なくない住民の意思に反して豊里ネオポリスの住居表示変更を進める予算が含まれている点、また議案第33号の反対理由と重複するところも多く、問題である。また、わが党は国において子ども医療費助成制度創設を求めるとともに、窓口無料化に対するペナルティをやめることを再三要求している。(日本共産党津市議団)	